

SBTの認定を取得しました

日の本穀粉株式会社が設定した温室効果ガスの削減目標が、「SBTi(Science Based Targets initiative)」により科学的根拠に基づいた目標として認定されました。

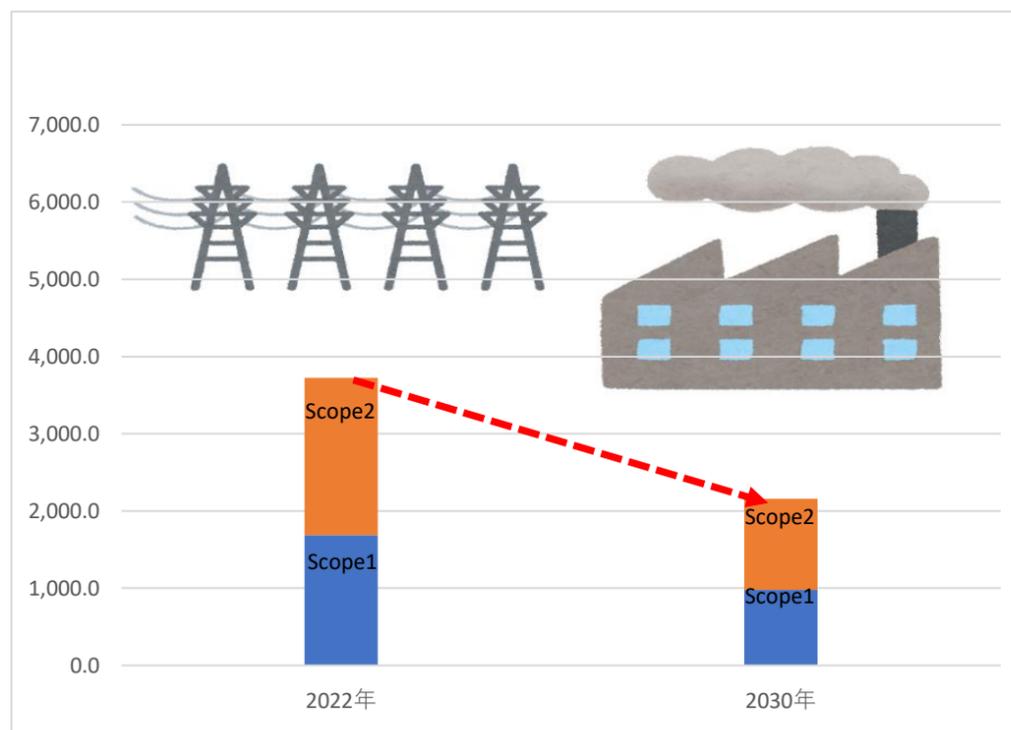


認定された温室効果ガス削減目標

対象項目	削減目標
Scope1： 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出	2022年度を基準に、2030年までに42%削減する
Scope2： 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出	
Scope3： Scope2以外の間接排出	排出量を把握し、削減することを約束する

■現状の温室効果ガスの排出量と削減目標イメージ

Scope	基準年	排出量 (t-CO2)	目標年	削減率	排出量 (t-CO2)
1	2022年	1,686.4	2030年	42%	978.1
2	2022年	2,036.8	2030年	42%	1,181.3
1+2	2022年	3,723.2	2030年	42%	2,159.5



今後も事業活動における温室効果ガスの把握と削減に取り組むことで、「カーボンニュートラル」「脱炭素」「気候変動対策」に貢献し持続可能な社会の構築に努めて参ります。

●Science Based Targets (SBT) について

[SBTi webサイト](#) (英文サイト)

Science Based Targetsは、パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より2°Cを十分に下回る水準(Well Below2°C)に抑え、また1.5°Cに抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5年~10年先を目標年として各企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のことで、SBTは国連グローバル・コンパクト(UNGC)・カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CDP)・世界資源研究所(WRI)・世界自然保護基金(WWF)の4つの機関による共同イニシアチブ(SBTi)によって認定されます。